

第 22 回 木 質 ボ ー ド 部 会 シ ン ポ ジ ウ ム

「原料供給の持続性と新規用途の開発を求めて」

日 時： 平成25年10月4日（金） 9：50～17：00

会 場： 新木場木材会館（東京都江東区新木場1-18）

東京メトロ有楽町線、JR京葉線、りんかい線「新木場」下車徒歩3分

主 催：（公社）日本木材加工技術協会 木質ボード部会

共 催： 日本繊維板工業会

協 賛：（公財）日本住宅・木材技術センター、（公社）日本木材保存協会、
（一社）日本木材学会、（一社）日本ツーバイフォー建築協会、（社）プレハブ建築協会、
（一社）全国木質セメント板工業会、（一社）日本木造住宅産業協会
（公社）日本木材加工技術協会木材・プラスチック複合材部会（順不同）

9:30 ～ 9:50 木質ボード部会年次大会

演 題：

10:00 ～ 11:00 木造住宅の温熱環境と木質ボード

（地独）北海道立総合研究機構 森林研究本部 居住環境グループ 研究主任 朝倉 靖弘 氏

11:00 ～ 12:20 構造用MDFとJIS規格について

（独）森林総合研究所 複合化研究室 室長 渋谷 龍也 氏

（独）森林総合研究所 木質構造居住環境研究室 主任研究員 青木 謙治 氏

12:20 ～ 13:00 昼食

13:00 ～ 14:00 木材利用ポイントについて

林野庁 林政部 木材利用課 課長 阿部 勲 氏

14:00 ～ 14:50 MDFへの国産材利用について

エヌ・アンド・イー株式会社 製造部 部長 豊田 大介 氏

14:50 ～ 15:00 休憩

15:00 ～ 15:45 国産材関連話題提供 3題

1) 国産材マークについて

林野庁 森林整備部 施工企画調整室 室長 小島 孝文 氏

2) 木質ボードの原料使用実態

日本繊維板工業会 専務理事 瀧川 充朗 氏

3) 京都議定書第二約束期間におけるHWPの取り扱いと木質ボード

（独）森林総合研究所 木質構造居住環境研究室 主任研究員 恒次 祐子 氏

15:45 ～ 16:50 《パネルディスカッション》

テーマ：「国産材の利用促進と木質ボード」

コーディネーター：岩手大学 農学部 教授 関野 登 氏

パネラー：林野庁 小島室長、森林総研 渋谷室長、恒次主任研究員、

日本繊維板工業会 瀧川専務理事

16:50 ～ 17:00 総括・閉会

参加費 15,000円

参加申込書を下記宛にFAXいただき、参加費をお振込みください。
入金確認後、受講票をFAX致しますので当日ご持参ください。
定員（80名）になり次第、締め切らせていただきます。

振込先 みずほ銀行 八重洲口支店 普通預金 2406733 木質ボード部会

事務局 日本繊維板工業会 シンポジウム係 TEL:03-3271-6883 FAX:03-3271-6884

木質ボードシンポジウム参加申込書（複数連記可）

参加者氏名			
勤務先			
勤務先住所			
	TEL	FAX	E-mail

平成25年 月 日 申込者氏名